



なんぶ

議会だより

第53号

平成29年12月議会
発行/平成30年1月



- 新年ごあいさつ 2
- 12月議会報告 3
- 一般質問 5
- 研修会報告・議会活動日誌 11
- 二十歳の誓い・あとがき 12

消防出初式

「1年間の無事故を祈って分列行進」

12月議会報告

平成29年12月定例議会は8日から20日まで(会期13日間)開催され、教育委員の任命、町道認定、6件の条例一部改正、7件の公の施設の指定管理の指定、一般会計他9件の補正予算についてそれぞれ審議し、いずれの案件も可決されました。

補正予算

前年度(平成28年度分)補助金確定による過年度償還金の計上、社会資本総合交付金(道路交付金)の配分枠による道路改良事業等の再調整、除雪対策経費の予算計上、台風18号及び21号により被災した農地災害復旧費の計上など2,506万9千円の増額補正予算で総額72億4,006万5千円とする

主な事業

特別医療費助成事業

…380万円増額(計8,442万7千円)

当初見込んでいた必要額が増加し、予算の不足が見込まれる

住宅用太陽光発電システム設置事業

…115万円増額(計566万1千円)

申請者数の増加見込みによる予算増額

汗かく農業者支援事業

…127万3千円増額(計197万3千円)

申請者数の増加見込みによる予算増額

農地耕作条件改善事業

…1,520万円増額(計2,020万円)

河原田堰の左護岸洗掘崩壊による護岸工事費を追加で予算計上する

道路維持費事業

…1,106万3千円増額(計5,131万3千円)

除雪作業委託費を増額補正する

町道路線の認定

町道1路線の認定
境大袋線(延長900.0メートル)

条例改正

○南部町職員の育児休業に関する条例の一部改正

非常勤職員の育児休業期間について、特別な事情がある場合は例外的に2歳に達するまで育休を可能とする。また、育休期間の再度の延長が出来る特別な事情として、保育所における保育が行われない場合(待機児童)を追加する改正を行う。

○南部町児童福祉支給条例の一部改正

所得上限の扶養親族等の表に6人以上を定め、所得上限の要件を受給資格から手当の額及び所得制限に変更するほか所要の改正を行う。



副議長
井田 章雄



議長
秦 伊知郎



年頭
ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をご健勝で健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。日頃より、議会に對しましてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。現在、我が国を取り巻く環境は、緩やかな景気回復が続いていると言われていますが、まだまだ、地方におきましては厳しい経済状況であり、また、緊迫した国際情勢など多くの課題を抱えています。このような中で新年を迎え、町民の皆様の声を真摯に受け止め、安心して心豊かに暮らせるなんぶ暮らしの実現を目指してまいりたいと存じます。

昨年は「住民の声をきく会」を町内2ヶ所で開催し、町民の皆様からのご意見をいただきながら議会活動に反映してまいりました。本年も町民の皆様との距離をもっと近いものとし、開かれた議会とするため議会改革を進めてまいります。町政発展のため、議会の使命である「具体的な政策の最終決定」、「行財政運営の批判と監視」を果たしてまいります。

これからの議会活動にあたり、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。



議員名	発言時間	質問事項
1 細田元教	30	1 町長就任一年の総括
		2 総合支援事業
		3 地域包括ケア
		4 総合相談
2 三鴨義文	20	1 今後の南部町農業
		2 移住定住対策と空き家
3 荊尾芳之	30	1 住宅施策
		2 公園整備施策
4 白川立真	30	1 LED 防犯灯の設置
		2 「ひきこもり対策」への支援
5 長束博信	30	1 里地・里山
		2 マイナンバー制度
		3 子どもが育つ環境づくりと人材育成
6 亀尾共三	30	1 複合施設計画
		2 子そだて支援施策
7 景山 浩	20	1 森林政策
		2 統合医療
8 真壁容子	30	1 引きこもり対策
		2 南部町に於ける農業対策
9 加藤 学	30	1 水道料金
		2 子どもの広場整備検討事業
		3 町内在住者による起業支援事業
10 仲田司朗	25	1 起業しやすい施設「サテライト」の設置
		2 青少年育成の振興
11 板井 隆	30	1 青少年育成の振興
		2 引きこもり者対策事業



【質問の通告】
一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定められている。町民皆様の声を町政に問います。

あなたの声を町政に問う！

町長 ほんの少し、成果が見えた。5つの挑戦項目で、1点目、なんぶ創生では、お試し住宅「米や」をオープンし、里山講座等で利用している。賀野地区でサテライト施設を整備中、天萬サテライト施設は検討チームを立ち上げている。

2点目、子どもたちが生き生き育つ環境と人材育成では子ども食堂をはじめ、全小・中学校5校にエアコンを設置、中学生が行っている未来会議も年々発展・進化しており、新年度では

細田 陶山町長が誕生して、1年が過ぎた。就任から1年経ってどのような感想と、総括されたのか、また来年の折り返し地点の2年目に入っているが、町政をどのような方向に持っていくのか、抱負を伺う。



A

総合計画に着手する

Q

町長就任一年の総括と今後の抱負は

総括と抱負

細田元教議員

町長

提案の中から1つ事業化したい。

3点目、健康長寿のまちづくりでは、百歳体操を全集落で取り組みたいと思っている。

4点目、人と地球環境にやさしい共生のまちづくりでは、水道料金の統合やごみ焼却施設の基幹改良に着手した。

5点目、行財政改革では、法勝寺庁舎に総合窓口の設置、子育て支援課の新設、上下水道を建設課に統合した。

来年度の抱負については、今後の農地、住宅地、公共施設の活かし方、西伯病院を中心に医療と福祉の連携、公共交通のあり方、農業の集団化六次化を目指し、また公民館西伯分館建て替えの実施設計、天萬地区のサテライト施設、法勝寺高校跡地の活用など、新年度から総合計画に着手したいと思っている。

○南部町空き家等の適正管理に関する条例の一部改正

空き家等に対する緊急安全措置及び軽微な措置を町が行うことができる規定を設ける。

○企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い、当該法律を引用している関係条例の整理に関する条例を制定する。

○南部箕蚊屋広域連合規約の変更に関する協議について

介護保険法改正に伴い、鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例が改正されるため、規約の一部を改正する。

○南部町職員の給与に関する条例の一部改正

国の一般職の給与法改正を準用し、給料額、勤勉手当の支給率を改定する。
6月・12月支給の勤勉手当を0.05ヶ月づつ加算する。今年度は12月に0.1ヶ月を加算する。

12月議会議案審議結果 (○賛成 ×反対)

会計名／議員名(議席番号順)	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成29年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度墓苑事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度浄化槽整備事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度太陽光発電事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理の指定(青年の家、上長田会館、総合福祉センター「いこい荘」、西伯カントリーパーク、東長田山村広場、東長田山村交流施設ふれあいセンター、町民野球場、町民運動施設、農産物直売所)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理の指定(西伯カントリーパーク)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
平成29年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

発議案

案件名	提出者	可否
安倍政権下での憲法9条の改憲に反対する意見書	南部町議会議員 真壁 容子 外1名	不採択

Q 今後の南部町の農業について問う

A 集落営農と法人化を推進する

町長



三嶋 先般、全町の農家の皆さんを対象に「南部町農業の明日を考えるアンケート」が配布され、農家の皆さんからの回答提出がされたところである。その集計結果を町としてどう分析され、今後の南部町の農業についてどのようにお考えか伺う。

また、農家の皆さんと今後の南部町農業のあるべき姿に向けた進め方について伺いたい。

町長 まだ、詳細な分析までは出来ていないが、主となる農業者の構成年齢は約77%が60歳以上の方であり、農業後継者の有無については、63%の方が「いない」と回答されている。

こうしたアンケート結果から農業従事者の高齢化が一段と進んでいることや、農業の担い手が近く激減することが予想される。

このことから、農家の皆さんは先祖伝来の農地に対する愛着や守っていく使命を自覚しながらも、どうしようもないと悩んでおられる方が多いと思われる。

町としても豊かな農地風景が今後も維持存続されていくことが大きな財産であると考えており、こうした労働力、後継者の問題に対する方策として、個々で農地を守るのではなく、共同、集団で守っていく集落営農組織または農業法人の設立が効果的であると考えている。

アンケートにも約30%の方が組織化の必要性を感じていると回答されているので、今後、集落にも出かけて話し合いを持ち、設立に向けた支援を行っていきたい。



LED防犯灯

白川立真 議員

Q 通学路を対象に設置促進を

A 各PTAと相談し検討する

町長



白川 毎年、防犯灯設置に関わる集落要望は多い。予算上すべての要望を満たすことは困難だが、どのような基準で設置しているか伺う。

また、通学路などを対象にした町が指定するLED防犯灯設置促進路線を設けてはどうか伺う。

町長 集落外などの町が設置する場合において、具体的な基準に従って設置しているものではない。集落などから要望が出た時点で、担当者が暗くなるのを待ってから状況を確認し自治会の会長や代表の方から直接話を伺っている。

特に重視するものとして、利用者のニーズはどれくらいあるのか、周囲の照明との関係で明るさはどうなのか、通学路の指定になっているのかなど考慮し



ながら、予算も限られていることから優先順位を判断している。これからの計画の中で、LED防犯灯をその路線に重点的に設置することが計画の中に含まれるかどうかかわからないが、町としては、各PTAと相談し通学路を中心にしながら、まずはもう一度再点検を行う必要を感じた。

Q 住宅の確保をどう図るか

A 民間事業者を活用する

町長



荊尾 南部町の住宅施策について、町営住宅とそれ以外の住宅とに分けて質問する。まず、町営住宅の現状及び今後の計画について、さらには、新しい町営住宅の建設計画はあるのか。次に、民間アパートの活用、民間事業者との連携をどう図るか、住宅団地の開発など移住希望者の住宅の確保をどう図るのかを問う。

町長 町営住宅のほとんどは公営住宅法に基づいた住宅で、入居者の所得が法で定められた所得以下であることが条件だ。また、越敷野団地は定住政策として小学校に通う児童がいることが入居条件とし、メゾン福成は少子化対策として35歳以下の若者を対象にした住宅だ。新しい町営住宅の建設計画は具体的なものは現時点ではない。

次に民間アパートの活用等については、土地活用や資産運用に伴う賃貸物件の建築が進んでいるがあくまでも賃貸であり、若者や子育て世代の受け入れとしては有効だが、定住に結びつけるには、宅地開発などもう一段の工夫が必要だ。

県内で唯一、人口が増加してきたのは日吉津村であり、人口増加の一因は新しい賃貸物件であるアパートの建設が急激に増えたことによるものだと思う。

一定の間、賃貸物件に居住して、その地域や集落のコミュニティの一員となり、その受け入れ場として集落内に小規模な宅地造成を行う。また、4戸でも5戸でも良いから定住用の若者向けの住宅開発を行う。今後は、こういう仕掛けづくりが必要となり、行政と民間事業者が連携をとりながら進める必要がある。



里地里山

長束博信 議員

Q 里地里山指定を維持し、つなげていく施策は

A 南部町総合計画の策定に盛り込んでいく

町長



長束 ①里地里山の指定を受けてこれを維持し、つなげていくために様々な施策を推進していく基本的な方針を改めて伺う。

②マイナンバーカードの利用方法で将来の構想は有るのか伺う。
③子どもが育つ環境づくりと人材育成で南部町を好きになり、将来も住み続けてくれるには何が有効と考えているか伺う。

町長 ①里地里山関連事業を進める構想や根拠については、その源流である森林の整備、管理を進めていく必要があり、その為、間伐の促進は林業事業者の体制整備、所有者への間伐の働きかけが重要と考える。里地里山に関する事業は、定住対策や生活環境整備、農林業などの産業、防災等の多様な事業が関わってくる。今後、南部町総

合計画の策定等を考慮しながら、農地と森林の保全、活用についても盛り込んで行く考えである。

②マイナンバーカードの目的は顔写真付カードの提示で本人確認ができることから住民の利便性の向上につなげることとしている。ICチップの空き容量を印鑑登録証、コンビニ交付や図書館カードに利用可能だが現時点ではシステムが高額なことから導入を見合わせている。南部町独自の利用方法は具体化の時点で皆様と協議する。

③人とつながりたい、地域とつながりたいという思いを持つ人材を育てることが大切。子ども達が主体的に学び合う授業、教育実践を展開しており、まち未来科で町の今を知り、町の未来と自分の未来を重ね合わせて考えることのできる子どもの育成を目指している。生涯にわたる南部町とかかわり続けようとする若者が増えると確信しているところだ。

Q 入学年度の前に就学補助金支給の実施を求める

A 検討材料にさせていただく **教育長**



亀尾 少子高齢化の進む国はもとより、南部町も例外なく進んでいる。その要因は、働く環境の変化である。そのような中で、子そだてされている家庭に対し、全国では子そだて支援の拡充がいろいろな施策で進んでいる。

かけることをすべきではないか。本町で当てる方には提出を呼びかけることをすべきではないか。

来年度の対応のため、本年度中に、予算計上をされること。暮らしの家計に頭をいたためにおられる保護者の方に積極的に行政とした支援をすることは当然ではないか。

文科省が準用保護児童生徒支援について特別教育就学奨励補助金交付要綱を出したことを基に、小学校への入学者は、いまだ学齢児に該当しないため、これまでは補助の対象としていなかったのだが、しかし小学校に入学年度開始前の支給も補助対象にできるようになったことから全国では実施をする自治体が、支給を始めている。

南部町でも、新入学児童予定者に対しては申込の用紙を渡し、該当する方には提出を呼び

Q 貴重な里山をどのようにして守るのか

A 森林台帳整備や作業道整備支援を実施 **町長**



景山 我が南部町は町の全域が守るべき重要な里山里山に指定されている。

農地については、国の施策が一定の成果を上げ耕作放棄地化は沈静化が見られる一方、里山の荒廃防止、維持管理にはほとんど手が付けられていないのが現状である。

私たちの守るべき貴重な財産としての里山との観点から、この森林問題にどのように取り組もうと考えているのか。

町長 里山里山は、古くから集落と一体化して地域の人々の手で、管理され、木材や燃料、食糧の供給源として機能してきた。この営みが健全な林相の維持による災害防止や水源の涵養、特有の生物の生育環境、地域の景観や文化の基盤としての機能にもつながってきた。こ

のような環境面、防災面での重要度は現在もかわらない。

しかし、近年の産業構造の変化、人口の減少から里山の資源利用が減少し、管理が困難な状況となっている。

この里山の機能回復は、現在の集落の力だけでは困難である。木材需要については町内事業所による構造材用CLT製造（集成材）などで原材料としての間伐材利用を促進し、また、集落や地域振興協議会単位で行っている学生ボランティアや都市農村交流による環境維持や体験活動も更に支援していきたい。

間伐等の林業支援としては森林台帳並びに森林位置情報システムを整備するとともに、県基準の間伐補助に満たない小規模間伐に対して作業道整備の支援策を町単独で実施することで事業実施の促進を図っていきたい。



Q 統合医療推進の見直しを求める

A 拠点施設の整備は町の計画から除外した **町長**



眞壁 町で統合医療の推進に取り組んでいるが、住民から異論も出ている。これまでの経緯説明と軌道修正を求める。

いろいろある中で、エネルギー療法に取り組んだのはなぜか。それに対する西伯病院の見解はどうか。統合医療学会山陰支部の立ち上げがどうして町の総合戦略に位置付けられているのか。エネルギー療法とは何か、町の計画では、統合医療の拠点施設を町で建設することになっているが計画通り行うのか。

町長 医療費が財政を圧迫する現状を懸念し、セルフケアの一環として住民に紹介できるものはないかと統合医療の推進を掲げたところだ。

アロマやマッサージなどあるが、いずれも科学的根拠にかけるところがある。町でも科学的

根拠をとりつつ、エネルギー療法とヨーガ療法を紹介してきた。なぜこの2点に絞ったのかというところは私も知りえない。

科学的根拠があると断言できない状況で、医師が積極的に勧めているという状況ではない。

総合戦略の中で、統合医療をやってみようという事で事業に買った。その検証をするという事で学会というものを作った。これから町と学会と何らの関係を持つていくということはないと思う。

課長 エネルギー療法とは、療法師がご本人様の調子の悪いところに手をかざしてその療法をされるといいうやり方をとっている。

町長 拠点施設の整備の検討を行っているが民間ベースで実施が適当と判断し、現在は計画から除外しているところだ。

Q 国に対し所得補償制度復活を求める

A 首長の連合体として要望活動を行う **町長**



加藤 国の基本は農業と云われている。南部町に於いても農業は基幹産業である。しかし、以前は食用米60kg当たり1万8500円していたものが2016年には1万6千円から1万5千円しかない。農林水産省の資料によれば食用米60kg当たりの生産費は1万5千円から1万6千円かかり、単純計算した場合、5千円程の赤字になる。今、50の自治体から復活を求める意見書が提出されている。

南部町として、国に対して農家の戸別補償制度、反当たり7、500円の交付金の復活と価格補償制度を求める。

町長 平成30年から食用米の作付けに対して交付されていた反当たり7、500円の交付金が廃止されることになっている。これらの農政改革は、長

年実施して来た、生産調整を終了させ、農家がどのような米をいくら生産、販売するかなど、自由度の拡大を目指すことが主目的となっている。

食用米への交付金制度が廃止されるに当たり、農家の現状を考えると、その（交付金制度を廃止した）財源を生かした新たな農業支援策を講じる必要性があると考えている。全国町村会でも調査研究しており、首長の連合体として（国に価格補償を求めて行くことも含め）要望活動は行って行きたいと考えている。





2017年11月17日に民生教育常任委員会の研修会を実施した。介護保険に関し、本町にある「特養ゆうらく」について職員から運営や施設の利用状況など詳細な説明を受け、その後施設の内部について部屋の間取りやリハビリ場所、交流場所など個人に配慮した環境をつぶさに見学を行った。約一時間をかけての研修で職員や施設への理解が深まった。

その後、場所を移動して介護保険制度について南部箕蚊

介護に関わる研修会を開催！

民生教育常任委員会活動報告



屋広域連合の住田事務局長を講師に、2時間をかけて制度の仕組みや保険料の推移と今後の予測など詳細な説明による研修を行い理解を深めることができた。高齢者の増加、社会で支え合う仕組みの構築など今後への見直しが必要となっており現在、第7期の計画策定中とのことで、パブリックコメントと説明会の開催が計画予定されており注視したい。

起業支援事業

仲田司朗 議員

Q 町独自の支援策は

A 年齢制限を撤廃し奨励金50万円を交付する 町長



仲田 南部町に住んで新たに起業しようとする者の支援策について、35歳以下の方でない町外の助成対象にならない。県外から里帰り等をして町内で新たに起業しようとしても、年齢を超えているため支援策が得られない。町内で起業できるよう、年齢等の支援策の見直しを求める。

町長 新たに起業される方への支援として、南部町起業促進奨励交付金要綱に基づき、「創業」「開業」等を行った方に奨励金として50万円を交付している。本制度は平成26年度に制度化し、当初の3年間は若い世代の移住定住を図ることも目的としていたので、交付要件の一つに年齢制限を設けていた。本年度は、若い移住者に限定することなく、意欲のある起業者へ

の支援に向け、要綱の趣旨を若者移住者への定住促進を目的とすることから、町内産業の活性化を主たる目的とすることとし、要綱を改正した。

主な改正点は、

- ① 転入要件を廃止し、町内在住者としたこと。
- ② 申請時の年齢要件を廃止したこと。
- ③ 交付条件として、起業日から1年以上経営継続の見込みがあること。

南部町商工会に加入し、かつ商工会の推薦があることを定め、その過程で経営指導等の助言を受けることは従前どおりとする。

ただし起業日から1年以内に事業終了することになった場合には、奨励金の返還を求めることとしている。

青少年育成

板井 隆 議員

Q 育成支援について

A 自尊感情を高める学習強化を進めたい 教育長



板井 青少年育成の推進は町の未来を担う人材育成に必要不可欠な施策と思いつく。

①「高校生サークル」と今年、新しく結成された「新☆青年団」の支援について。

② 青少年育成で地域振興協議会との連携と役割について。

③ スマートフォンの使用で、事件に巻き込まれない未然防止について。

教育長 ①「高校はないが高校生はいる」をスローガンに平成26年度に結成された高校生サークルと卒業後に継続して地域とかかわりながら、町づくりに参画できる、新☆青年団が今年度結成された。

現在、町内のイベント等に参加しながら、存在をアピールし、その姿に子ども達が憧れを抱き、町民の皆様に応援される存在を

目指したい。

② 地域の特色を生かした様々な体験等の開催で、子ども達に地域に密着した対応をしていただ

日程や内容の重複の解決に向けた連携をとりながら、引き続きお願いしたい。

③ 高校生サークルが中学生に向けた、「先輩から後輩へちよこつとアドバイス」と題したスマートフォンの使用に際する留意点をまとめたチラシを配布した。保・小・中が連携し自尊感情を高める学習強化を進めたい。



新☆青年団の活動

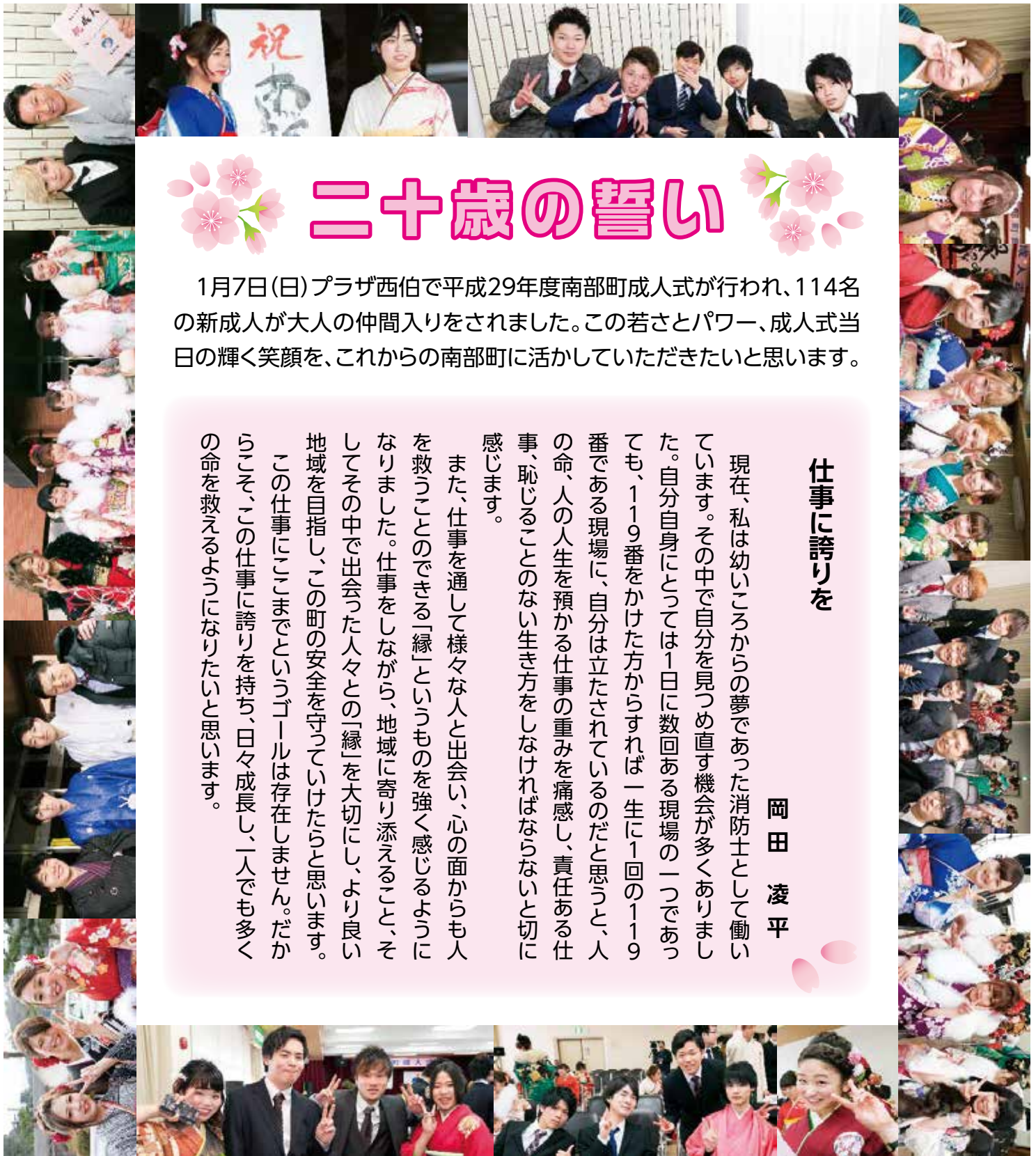
議会活動日誌

10月		
日	曜日	会議・行事
3	火	行政調査受け入れ(奈良県三郷町議会) 南部箕蚊屋広域連合議会行政視察～10/4(兵庫県)
6	金	広報委員会
13	金	広報委員会
16	月	市町村議会議員研修～10/20(仲田)
17	火	行政調査受け入れ(山口県平生町議会)
30	月	市町村議会議員研修～11/1(景山)
31	火	行政調査受け入れ(広島県北広島町議会)

11月		
日	曜日	会議・行事
6	月	市町村議会議員研修～11/7(景山)
8	水	行政調査受け入れ(埼玉県秩父市議会)
13	月	鳥取県女性議員研修会(真壁)
15	水	行政調査受け入れ(石川県能登町議会)
16	木	全員協議会、臨時議会
17	金	議会運営委員会

20	月	地方自治法70周年記念式典(東京都)
21	火	米子道4車線化総決起大会(東京都)
22	水	町村議会議長全国大会(東京都)
24	金	県町村議会議長会議員研修会(湯梨浜町)
27	月	民生教育常任委員会研修会
29	水	後期高齢者医療広域連合定例議会(細田)

12月		
日	曜日	会議・行事
8	金	議会運営委員会、全員協議会、定例議会(本会議)
11	月	定例議会(一般質問)
12	火	定例議会(一般質問)
13	水	常任委員会
14	木	常任委員会
15	金	常任委員会、複合施設建設調査特別委員会
19	火	議会運営委員会、全員協議会
20	水	定例議会(本会議)
26	火	西部町村議長会連絡会



二十歳の誓い

1月7日(日)プラザ西伯で平成29年度南部町成人式が行われ、114名の新成人が大人の仲間入りをされました。この若さとパワー、成人式当日の輝く笑顔を、これからの南部町に活かしていただきたいと思います。

仕事に誇りを

岡田 凌平

現在、私は幼いころからの夢であった消防士として働いています。その中で自分を見つめ直す機会が多くありました。自分自身にとっては1日に数回ある現場の一つであっても、119番をかけた方からすれば一生に1回の119番である現場に、自分は立たされているのだと思うと、人の命、人の人生を預かる仕事の重みを痛感し、責任ある仕事、恥じることのない生き方をしなければならぬと切に感じます。

また、仕事を通して様々な人と出会い、心の面からも人を救うことのできる「縁」というものを強く感じるようになりました。仕事をしながら、地域に寄り添えること、そしてその中で出会った人々との「縁」を大切にし、より良い地域を目指し、この町の安全を守っていかれたらと思います。この仕事にここまでというゴールは存在しません。だからこそ、この仕事に誇りを持ち、日々成長し、一人でも多くの命を救えるようにしたいと思います。

あとがき

今年は、天候に恵まれて成人式が行われました。新成人114名の意気揚々とした姿を見て、大変感動しました。

今年の新成人は、胸を張って自分の思いを堂々と主張していました。

君たちが、この南部町の次代のリーダーとなるよう日々研鑽していただきたいと思います。(仲田)

広報常任委員会

委員長 仲田 司朗

副委員長 荊尾 芳之

委員 景山 浩

三嶋 義文

白川 立真

長束 博信

滝山 克己

加藤 学